



原発事故から5年目 生協の子どもたち「健康診断」

5/15・6/18 甲状腺エコー検診 & 5/15 血液検査 (第4回目)

甲状腺エコー検査、要精密検査の子なし

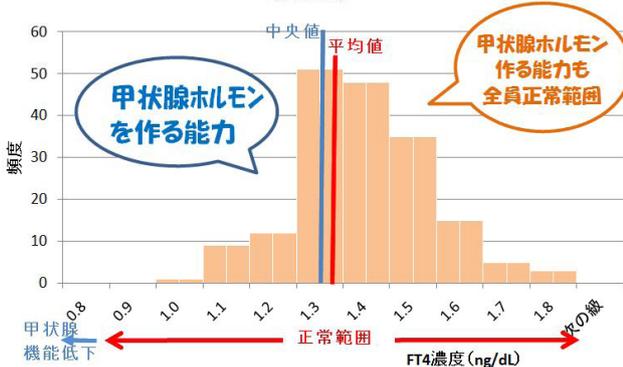
血液検査、甲状腺機能異常の子なし

心配されていた免疫低下も昨年から回復傾向

もうすぐ夏休み！ さあ、元気に遊ぼう！

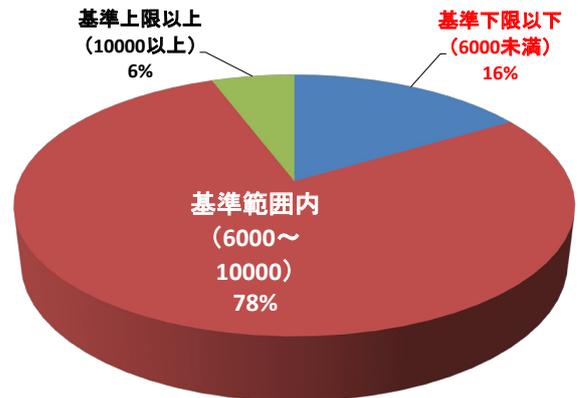
生協の子どもたち「血液検査」の結果 (2歳～23歳までの179名)

2016年度 甲状腺ホルモンFT4(遊離サイトシン)分布 (179人)



甲状腺ホルモン (FT 4) 全員正常範囲内です。

2016年度 白血球数(6～18歳未満 標本数140)基準



免疫力の白血球数も基準範囲内の子が約8割に。

【業務連絡】お盆の週の供給は8/17(水)～19(金)の3日間です。各班・個人の配達日は供給担当よりお知らせいたします。

【7～8月の予定】

●生協基幹運営/地域活動・催し●	●提携・協同企画●
<ul style="list-style-type: none"> 7/2 総代活動打合せ会 (バターづくりで仲間づくり) 7/16 石焼き釜ピザ焼き体験交流 (つくば組合員宅) 7/17 つくばまめいち (つくば大角豆) <p>◎7/26 (火) 10:30～12:30 常総生協本部 かーちゃんの力 渡邊とみ子さんを生協にお迎えして 「渡邊さんお話し会と郷土料理で交流会」</p> <p>○7/27 (水) 定例理事会 (第3回)</p> <p>【有機野菜セット生産者交流会】(いずれも10時～14時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/28 (木) 微生物農法の会長島さん 8/2 (火) 清水農園 8/11 (木) 宇治田農場 8/22 (月) 土れ味農園 天池さん 8/27 (土) くわはら農園 	<ul style="list-style-type: none"> 7/2-3 甲状腺検診 三郷、白井 (関東子ども基金) 7/9-10 甲状腺検診 真岡・益子 (関東子ども基金) 7/15 西尾正道講演会「これからの健康被害」 <p>○7/23 (土) 14:00～16:00 牛久かつぱの里 原発いらない牛久の会 / 東海第2原発再稼働に反対する 茨城県自治体議員連盟主催 「東海第2原発の裁判でわかってきたこと」 (東海第2原発運転差止訴訟原告団・常総生協前副理事長大石)</p> <p>◎7/25 (月) 13:30～15:30 常総市保健センター ふくしま飯館村といばらき常総市をつなぐ かーちゃんの力 渡邊とみ子さんお話し会 「福島の間 被災地だから見えてくるもの」</p>

原発事故から5年 子どもたちの健康検診

生協の子どもたちの「血液検査」は、2011年東京電力福島第一原発事故での被ばくを受けて、常総生協組合員から寄せられた「生協こども基金」から2/3の補助を受けて実施されました。「甲状腺エコー検診」は、関東東での甲状腺検診をすすめる子ども健康調査支援基金に集いながら、生協の検診においては医師・技師・看護師・検診スタッフは組合員ボランティアを中心に実施されました。

2016年度【子どもたちの健康状態】まとめ

(1) **甲状腺エコー検診**では、5月222人、6月に残りの63人、合計285人の子どもたちの検診を行い、要精密検査の子はいませんでした。関東子ども健康調査支援基金による関東圏での検診はのべ5,600人を超えました。判定の全体的な統計報告は、追って基金から報告が行われる予定です。

(2) **血液検査**は、2013年春より生協独自に続けてきました。今年で4回目となります。受診された家族には6月までに検査結果を報告させて頂きました。

まず、放射性プルームによるヨウ素131吸入被ばくによる甲状腺機能障害がないか、血液中の甲状腺ホルモンを見ていますが、甲状腺機能に異常のある子はいませんでした。

血液検査ではもうひとつ、放射線の影響による「免疫細胞」の様子に注意しています。

2013年当初、集団として白血球、好中球（白血球の中の分画）が少ない傾向があり「関東地方の子どもたちの免疫力の低下」として全国的に話題にもなってしまう心配されましたが、昨年の検査以降、基準値以下の子の割合が小さくなっています。（右ページ年次推移）

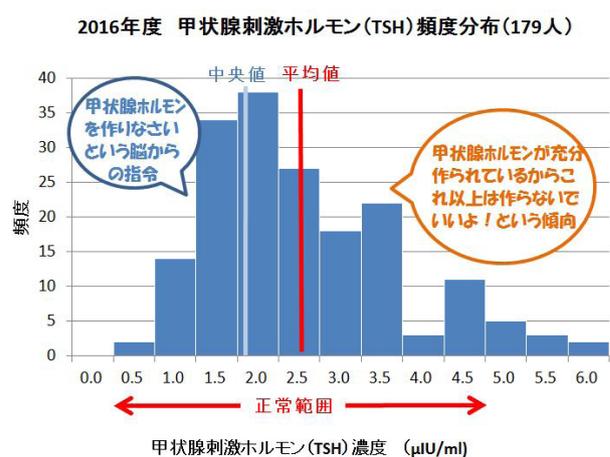
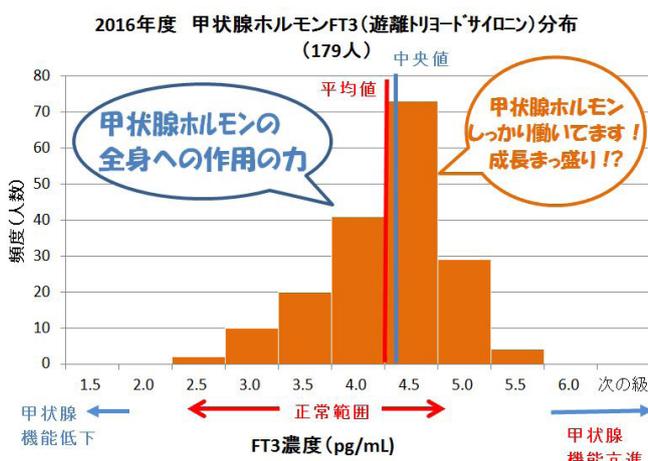
原発事故直後はホットスポット地域において、親御さんたちも外で遊ばせることをためらわれたことと思います。外界に触れて免疫力をつくってゆく時期で心配されましたが、ようやく元気に身体の力をつけてゆく方向にむかっているのではと思います。

チェルノブイリでの経験もあることから、血液検査もあと数年は継続して見守る予定です。

今週のニュースでは、「血液検査」について報告させて頂きます。

(担当事務局 米山、大石)

【血液検査結果】179名の子の血液検査の結果 (1) 甲状腺機能検査



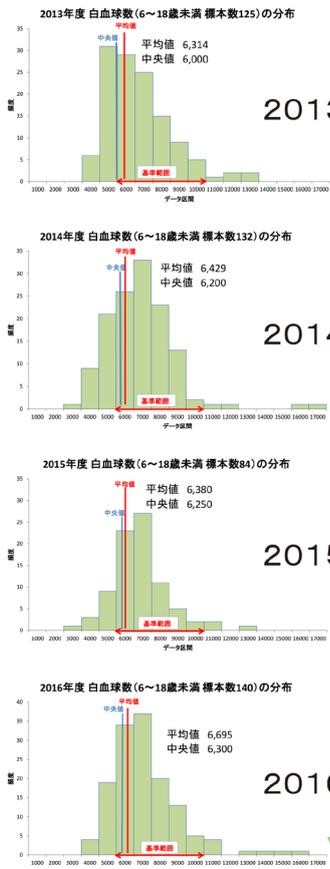
1) 血液に出されている**甲状腺ホルモン (FT3 および FT4)** の濃度の分布は、P 1 (表紙グラフ左) に FT4 (甲状腺ホルモンを作る力)、上グラフ (左) に FT3 (全身に甲状腺ホルモンが作用しているか) のヒストグラムの分布を示します。全体の傾向として、血液中に十分な甲状腺ホルモンが放出されており、機能低下の子は見られませんでした。

2) **甲状腺刺激ホルモン** の血中濃度の分布を上グラフ (右) に示します。甲状腺ホルモンが不足すると、脳から血液中に甲状腺刺激ホルモンが放出されて甲状腺でのホルモン産生を促します。全体として甲状腺ホルモンが充分につくられていることを反映して、甲状腺刺激ホルモンの方は抑制されている傾向にあります。

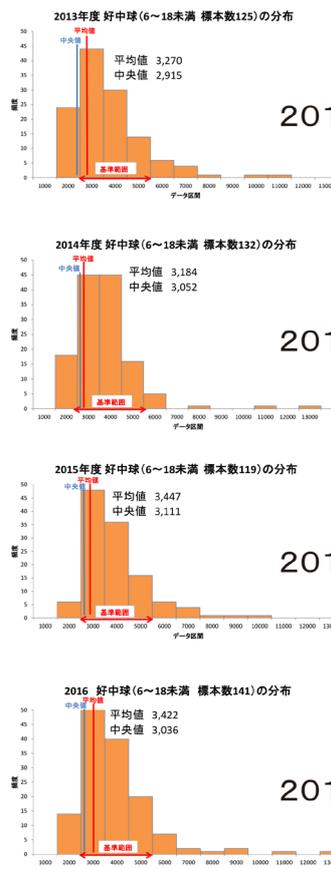
【血液検査結果】血液検査の結果（2）免疫力の年次推移

白血球数、好中球数（白血球の中のひとつ）ともに、基準値以下の子の割合（青）が2015年以降大きく減少しています。

白血球数（6歳～18歳未満 ヒストグラムと構成）



好中球数（6歳～18歳未満 ヒストグラムと構成）



組合員による活動紹介 「福島応援プロジェクト茨城」福島の子どもたち保養キャンプ

7/31～8/6 6泊7日福島の子らを保養キャンプに招待

茨城にも東京電力福島第一原発事故によるブルームの南下がありました。幸い筑波山南麓は筑波山に当たって汚染が少ない地域でした。

常総生協の組合員でもある長田さん・小張さんが「福島の子らが心配でならない」「思い切り遊ばせてあげたい」、思いにかられて山麓の古民家を買って保養所に改装し「ともいきの郷」（共に生きる郷）と名付け、福島の子どもたちの保養を無料で受け入れて今回で7回目となります。

すべてボランティアで本当に頭の下がる思いです。

今年の夏保養キャンプは15名の子どもたちの参加で、親戚の家に遊びに来たような雰囲気です。バーベキューパーティー、花火大会、プール遊び、筑波山散歩、工作教室、そば打ち体験、ハイキング、折り紙などの楽しい企画、そして今年は快医学講座も予定されています。

（食事づくり協力者募集！）

安全なものを食べさせてあげたいという思いから、食事は手作りです。一食だけでもお手伝いを募集中です！

お手伝い頂ける方は、小張さん（携帯：090-9108-0464、メール:saekoobari@gmail.com）までご連絡下さい。

福島応援プロジェクト茨城 茨城の夏ゆっくらキャンプ
7月31日（日）から8月6日（土）までの6泊7日

◆福島応援プロジェクト茨城は、福島の子ども達に対し保養キャンプの実施など、私たちにできる支援活動をやっているという趣旨で、2011年7月に結成されました。1回目のキャンプ（2011年8月16日から3泊4日）には、19名の子ども達と1名のお母さんが参加し、その後これまで計6回のプログラムを企画実施し88名が参加してきました。

◆保養キャンプの拠点「ともいきの郷」
2014年土浦市の筑波山麓のふもとの古民家を購入し、保養キャンプなどの拠点「ともいきの郷」を整備しました。敷地は740坪（2450㎡）あり、前庭が広々としています。ここで子ども達に、自然体験や手釣り遊びなどで、楽しい時間を過ごして貰いたいと思っています。この空間設備は、山陰にあってはたまたま茨城の中でも格段と低く、福島に近いので、「ともいきの郷」が保養の場として果たす役割は大きいと考えています。

◆2016年の保養キャンプ
7月31日（日）から8月6日（土）までの6泊7日の日程で保養キャンプを実施いたします。小学生が中心ですが、保護者の付き添い必須、幼稚園児も大丈夫です。ゆっくりゆったり、していただけるような日程を組まないと思っています。

「ともいきの郷」がある本郷の地域は豊かな自然が広がる田園地帯です。プール遊びやバーベキュー、そば打ちなど、色々な体験をして夏休みを楽しんでください。メールや電話での申し込みをお待ちしています。期間中、できれば親御さんが1泊でも一緒に参加して下さることを希望します。

キャンプ概要

受け入れ人数：子ども12名（保護者の参加も歓迎） 参加費：無料
宿泊場所：「ともいきの郷」〒300-4102 茨城県土浦市本郷1403-1
集合場所：福島駅西口午前9時半

予定表
7月31日（日） 福島発 午後1時ともいきの郷着
8月1日（月） バーベキュー・花火
8月2日（火） プール遊び
8月3日（水） ハイキング
8月4日（木） そば打ち体験
8月5日（金） リラックスデー
8月6日（土） 午後4時福島駅着

持ってくるもの
初日（7月31日）の昼のお弁当、飲み物を入れた水筒、着替え、バスタオル、帽子、洗面道具（歯ブラシ、タオル）、バスタオル、サンダル、プール道具（水着、水泳帽、ゴーグル）

<http://blog.goo.ne.jp/oueniba>

福島応援プロジェクト茨城
代表 長田清江 〒305-0005 つくば市久保1-10-12-1-401 TEL/FAX 02983602286
携帯 090-7845-6599 osada3220@nifty.com
事務局長 小張 佐恵子 〒305-0004 つくば市安楽774-2 花小路ともいき舎
携帯 090-9108-0464 saekoobari@gmail.com
金子かずお（つくば市市議会議員）〒300-0042 つくば市花園450-29 TEL. 029-857-1154

「小さな上映会だより 2016-(6)」(生協DVD貸出状況) 脱原発と暮らし見直し委員会

脱原発暮らし見直し委員会では、暮らしを見直す「おすすめ図書」をスタートさせました。第2回目は夏休みを前に子どもと一緒に読むコミックもあわせて、組合員からのおすすめ文を添えて紹介します。

小さな上映会便り 2016-5 お薦めの本の紹介 No.2

今回は組合員からのお薦めの文で。

農業部門コミック

<畜産編> 荒川弘 著 小学館

漫画家になる前に、7年間北海道で農業に従事していました。

1 『百姓貴族』

ウイングス・コミックス・デラックス
北海道の酪農家の日常の出来事です。百姓貴族の意味が分かります。笑えます。

¥734

常総生協の職員さんが、岩瀬牧場に向向しています。
鈴木牧場さんにも、サツラクさんにも見学会が在ります。
畜産の現場が体験できます。元気が出ます。

2 『銀の匙』

少年サンデーコミックス
北海道に実在する大蝦夷農業高校が舞台。

汗、土、涙にまみれた全寮制の高校生たちの物語。

¥463

<発酵編> 石川雅之 著 講談社

1 『もやしもん』

種麴屋の息子、沢木直保は菌が見えて話できる。可愛い菌達にかこまれて、醸造を学ぶ農大物語。

¥576

えほん「もやしもん」シリーズには、他にも、はみがき編、手洗い編などがあります。

2 えほん「もやしもん」第1弾

『いただきます』

金のりせ(麴菌)が、『ご飯は菌の仲間達が、力を合わせて作っているんだよと教えてくれます。菌の世界も協同組合を連想できます。

AMAZON では 中古品のみ

原発・沖縄関連

1 『100時間の極秘音源』

原子力政策研究会 新潮文庫 510頁
福島事故後に作られたNHKの3つのドキュメンタリー「置き去りにされた慎重論」、「そして安全神話は生まれた。」、「不滅のプロジェクト—核燃料サイクルの道程—」の取材記。
安い経費で早く作るため、スペイン仕様の原子炉設計を買い、冷却水の汲み上げ能力に合わせて、海拔35メートルの台地を海拔10メートルまで崩して建設。福島事故は人災である。

¥750

2 『日本はなぜ、「基地」と「原発」を止められないのか』

矢部浩治

集英社インターナショナル

日本の戦後史と原発が密接に関係しているという視点で書かれています。

私たち国民には知らされない話がいっぱいあったと知りました。

¥1,296

新刊『日本はなぜ、「戦争ができる国」になったのか』も毎日新聞でお薦め 6/29

常総生協 脱原発と暮らし見直し委員会